

実施日：1月15日（6校時）	
教科等：総合的な学習の時間	
取組名：人との適切な「つき合い方」とは何だろうか？	
対 象：2年生	実施場所：視聴覚室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会について理解を深める。 ・ デートDVについて適切な知識を獲得し、デートDVを未然に防止する。 ・ デートDVが重大な人権侵害行為であることに気付く。 ・ 対等な人間関係を構築することの大切さに気づき、今後、より良好な人間関係が構築できるようになる。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会について、その意義を知る。 ・ デートDVのみならず、いじめや虐待など、身のまわりに存在する暴力について考える。 ・ 女性の人権に関する専門家の知見に触れ、理解を深める。 ・ 男性から女性への暴力だけでなく、女性から男性への暴力もデートDVになりうることに気付く。 ・ ロールプレイング（寸劇）を通して、シチュエーションを再現し、より実態に応じた対応力を身に付ける。 ・ 互いを尊重した人間関係づくりについて考える。 	
ウ 連携先：尼崎市女性センター・トレピエ	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>専門家の知見を生徒たちに伝え、考えを深めることができるようにするために、尼崎市女性センター・トレピエと協働し、セミナーを企画する。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイング（寸劇）を通して、実際の場面を想像し、デートDVや、よりよい人間関係の構築について、より現実的な実践力を身に付ける。 ・ 日常生活場面でも、生徒間、生徒教師間で相手の立場や考えを尊重したコミュニケーションがとられているか、互いに意識し合う。 	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート、感想</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デートDV被害が、生徒自身が考えるよりもたくさん発生していることを知り、人権課題は特別なものではなく、身近なものであることに気付くことができた。 ・ 他人事ではなく、自らの身に起こる可能性があること、また自分自身も起こしうることに気づき、どのように対処すべきか考えを深めることができた。 ・ デートDVについてだけではなく、「暴力」そのものへの理解が深まった。 ・ 身のまわりで暴力に苦しむ人がいたときには、寄り添い、助けようとする姿勢を身に付けることができた。 ・ 対等な人間関係を築くことの大切さについて考えを深めることができた。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の生活において、このセミナーを通して学んだ他者との接し方をどのように意識できるか、実際に生徒自身の行動に結びつくかが課題である。 ・ 実際に暴力を受けるような場面、また暴力を受けている人に接した場面では、自らや暴力を受けている人の命を守るために、どのように行動できるか、生徒自身が考えられるようになる必要がある。 	